

解説

◇このワークシートのねらい

のいち動物公園では2羽のハシビロコウが暮らしています。「動かない鳥」として有名になったハシビロコウですが、実際はどうでしょうか。本当に動かないかどうか、確認してみてください。

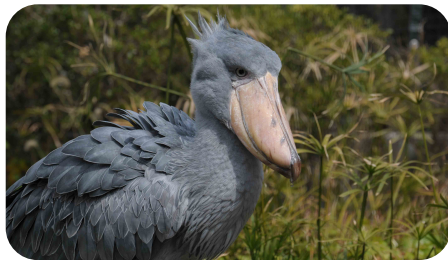
ハシビロコウ ペリカン目ハシビロコウ科

アフリカ中東部にすんでいます。体長1～1.2mで、翼を広げると約2mにもなる大きな鳥です。ハシビロコウという名前は「クチバシが幅広いコウノトリの仲間」からきていますが、最近ではコウノトリよりもペリカンに近い種類だということがわかっています。英名の Shoebill は「靴のようなクチバシ」という意味です。

エサとなる魚（肺魚）が水面にあがってくるのを、動かずにじっと待ち続ける姿から「動かない鳥」と言われるようになりました。もちろん、ずっと動かないわけではなく、動物公園では展示場内を歩いたり、飛んだりと自由に動いています。

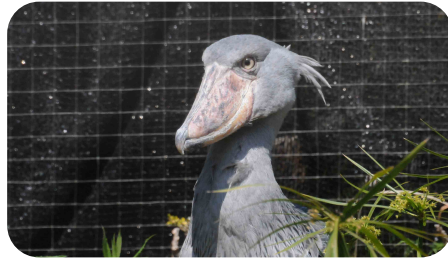
野生では繁殖期以外は単独で行動しています。のいち動物公園でも基本的に2羽がそれぞれ別の展示場に出るなど、別々に暮らしています。ハシビロコウは飼育下での繁殖が世界で2例しかなく、当園でも繁殖を目指していきたいと思っています。

外のとんじ場に出ているのは誰かな？



ささ（オス）

行動派で展示場ではネットの近くまで来ることがあります。目の色は薄い青色です。



はるる（メス）

ささと比べると、体が少し小さいです。目の色は薄いオレンジ色です。

ハシビロコウの顔をよく見てかいてみよう！

ハシビロコウの顔をよく見てみてください。

ハシビロコウの後頭部には寝ぐせのような冠羽があります。長さやはね具合が1羽1羽異なりますので見比べてみてください。

大きなクチバシの先にも注目してみましょう。とがった先端がかぎ状になっています。これはエサ（魚）を逃がさずしっかり捕まえるためとされています。

ハシビロコウは何をしているかな？

ハシビロコウの行動を、じっくりと観察してみましょう。翼を広げて日光浴をしたり、プールに入って水を飲んだり。他の鳥類と比べると動きは少ないかもしれませんが、様々な行動をしているのがわかると思います。

「クラッタリング」とはクチバシをカタカタと鳴らすことで、求愛や威嚇、信頼の証などコミュニケーションのツールとなる行動です。

ハシビロコウクイズのこたえ 2. エサをねらっている

◇まとめ

動物をじっくり観察することで新たな発見があると思います。その発見が、動物に興味を持ち、正しく理解するきっかけになると思います。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738
高知県立のいち動物公園 ワークシート係
TEL 0887-56-3509 FAX 0887-57-5251